# 二ツ井支部冬期講座

女性部二ツ井支部による５回目の冬期講座が２月22日に開かれ、約100人の部員が参加しました。

今回で最後となる講座では、地区ごとにグループとなり、ちりめんの布を使ったバラの花づくりを行いました。事前に各地区の代表者が、仁鮒地区の地区長を務めている藤田文子さんから作り方を学び、講師役となって教えました。参加者は、講師の話をよく聞きながら作品作りに取り組みました。出来上がったバラは、赤、ピンク、黄色、白とどれも色鮮やかなものになり、参加者は「きれいに出来上がってうれしい」、「一足早く春が来たようだ」と満足気に話してくれました。

その後、閉講式では皆勤賞の表彰が行われ、70人もの部員が表彰され、支部役員から１人１人に鉢花がプレゼントされました。表彰を受けた部員の方は「全部の講座に出席することができて、とても楽しかった。来年も皆勤賞を目指して仲間と参加したいです」と笑顔で話してくれました。

講師から作り方を学びます

作業を教え合う部員

皆勤賞の表彰

# フレッシュ絵手紙講習会

趣味の充実と地域住民との交流などを目的に始まった絵手紙サークルも今年で６年目を迎えます。この活動は主に二ツ井地区で開いており、年々活動の輪が広がっています。

２月22日には、絵手紙の作品を見て「自分たちもやってみたい」という要望があった能代地区のフレッシュミセスを対象に生活課会議室で絵手紙講習会を開き、３人の会員が参加しました。女性部二ツ井支部の佐藤静子さんを講師に招き、絵手紙づくりの合言葉「へたでいい、へたがいい」のもと、存分に筆をふるって旬の山うどやいちごを描き、自慢の絵手紙を完成させました。

参加者からは「初めてだったので色合いなど難しく、思ったように書けなかったが、みんなと会話をしながらできたので楽しかったです」といった感想が聞かれました。

真剣な表情で取り組む参加者

先生のアドバイスに耳を傾けます